

過去からのバトン、 未来へのバトン

新年度がスタートしましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年は昭和で言えば100年、また、戦後80年の節目であります。私たちが享受している平和と繁栄の時代が、いかにして出来上がっているのか、先人の努力と多くの犠牲を今一度深く理解し、認識を深める年にしたいと思います。

そして21世紀も四半世紀を過ぎました。科学技術の進化とは裏腹に世界と日本、そして岩手は深刻な課題に直面し、それは日々混迷の度を深めています。

この時代に生まれる子供たちの多くは21世紀を生き抜いて22世紀に足を踏み入れる世代。私たちに**はより良い国と地域にしてバトンを次世代に渡す責任**があります。

今回の県政レポートでは、県の**新年度予算案**などのほか、ILCの現在地について欧州視察を踏まえて報告します。

このレポートが皆様にとって暮らしの一助になれば幸いです。

令和7年5月
岩手県議会議員 **岩渕 誠**



Vol.23
2025.5.1

発行 ■ 岩渕誠事務所
一関市花泉町金沢字内ノ目50
☎0191-82-3851
Eメールアドレス: ichinoseki@iwabuchi-mako10.com
http://www.iwabuchi-mako10.com

岩渕まこと
県政報告と

皆様からのご意見、
ご要望をお待ちしています。

ILCの現在地



～欧州訪問記～

ILCの建設実現に向けて、現地調査と要請活動のため1月26日から1週間の日程で欧州の関連施設を訪問し、関係者と意見交換をして来ました。

今回は初めて、県と県議会、経済団体と一関市と大船渡市の地元自治体が一緒になって訪問したもので、県議会からは4つの交渉団体会派からそれぞれ1名が派遣され、私も会派を代表して参加しました。

欧州ではスイスのジュネーブ郊外にある**セルン**（欧州原子核研究機構）とドイツのハンブルクにある**DESY**（ドイツ電子シンクトロン）の2つの最先端研究施設を視察。それぞれで研究者と意見交換したほか、ILCの建設実現に向けて検討を進めている研究者の国際推進チーム、IDTの中田達也議長から現状について説明を受けました。

また、CERNのあるスイスとフランスの国境の町フェルネ＝ヴォルテール市の市長とも面会し、地元自治体として必要な準備や課題についても意見交換しました。

研究者間では岩手の誘致活動は熱心に行われていることを理解しているものの、日本政府の動きがないことに懸念が示されました。



DESYにて研究者と懇談

欧州の研究者間では、CERNで浮上している全長100キロにおよぶ新たな円形加速器の建設に大きな関心が寄せられているものの、建設費はすくなくとも2兆5,000億円に上るなど巨額の財政負担が課題となるとの見通しも示されました。

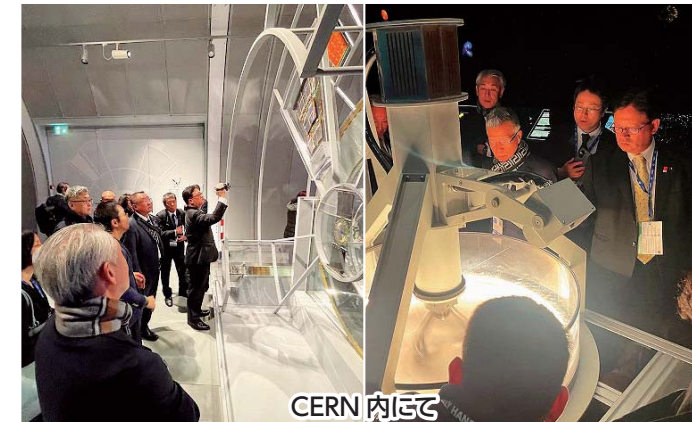
また、中国でも大型円形加速器の計画が進められていますが、研究者間では歓迎する声はなく、価値観を同じくする国での研究が望ましいとの考えをにじませました。

当面、欧州内での新たな研究施設を志向するニュースが報道されると思いますが、欧州各国にとって巨額の財源ねん出は極めて厳しい環境となっています。

翻ってILCは建設費用が8,000億円となっており、経済性や、円形に比べて直線のほうが研究成果を出しやすいなどの優位性もさらに出てきているとの印象を強くしました。

いずれにせよ、我が国がILCについて積極的な姿勢を発信することがなにより必要です。世界と未来に貢献するILCとの考えのもと、私もさらに努力して参ります。

なお、詳しい視察報告書はこちらからご覧いただけます。



CERN 内で

代表質問に登壇

～達増知事と直接論戦を交わす～

予算議会である2月定例会議では、年に一度の代表質問が行われ、私が会派を代表して達増知事と直接論戦を交わしました。

県の行財政改革の方向性、ILC実現に向けた取り組み、産業振興対策（農業含む）とGX推進の必要性について、地域医療対策、防災対策などについて取り上げました。



なお、代表質問の様子はこちらでご覧いただけます。（県議会公式 YouTube より）



新年度予算成立 ～4つの重点項目へ注力型予算～

総額7,329億円にのぼる県の一般会見当初予算が成立しました。「世界に開かれた地方創生予算」と位置付けた新年度予算。その規模は前年とほぼ横ばいですが、人口減少対策など4つの重点事項にそれぞれ数億円から数十億円が積み増しされています。

重点事項筆頭の「人口の自然減・社会減対策」は228億円と前年度当初予算比で7億円増。半導体関連人材の育成や農畜産応援の新規事業で社会増を促す内容となっています。固定的なジェンダー意識を解消するための講演会・セミナーの開催費用も計上されました。

「安全・安心な地域づくり」は52億円増の528億円。災害や感染症だけでなく日常生活に潜む犯罪・事故にも備えるため「災害時学校支援チーム」を新しく構築する事業も含まれています。

また「グリーントランスフォーメーション(GX)の推進」「デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進」にも重点配分されています。

詳しい県予算の概要こちらからどうぞ。
(県公式ホームページ予算関係資料へ)



なお、一関、平泉管内の主な公共事業は以下の通りです。

令和7年度一般会計当初予算における県土整備部関係の主な箇所について (単位：百万円)

新規継続	事業名	市町村名	路線名等	箇所名	予算額(案)
継続	道路環境改善事業費	一関市	県道一関大東線	千歳橋	100
継続	道路環境改善事業費	一関市	県道一関北上線	中里橋 (堤内地)	100
継続	道路環境改善事業費	一関市	県道栗駒平泉線	本寺橋	100
継続	道路環境改善事業費	平泉町	県道三日町瀬原線	平泉	100
継続	地域連携道路整備事業費	平泉町	県道一関北上線	長島	227
継続	基幹河川改修事業費	一関市	一級河川夏川	夏川	60
継続	公営住宅建設事業費	一関市	県営銅谷アパート	一関	306
継続	道路環境改善事業費	一関市	国道456号	中沢跨線橋	40
継続	道路環境改善事業費	一関市	県道一関大東線	生出橋	60
継続	道路環境改善事業費	一関市	県道東和薄衣線	堀切橋	80
継続	道路環境改善事業費	一関市	県道薄衣舞川線	砂鉄橋	110
継続	地域連携道路整備事業費	一関市	県道本吉室根線	津谷川	116
継続	治水施設整備事業費	一関市	一級河川砂鉄川曾慶川	砂鉄川	60
継続	急傾斜地崩壊対策事業費	一関市	急傾斜地	兵沢	50

長島バイパス、年度内着工へ

平泉町長島地内で事業が進む県道一関北上線「長島バイパス」は、新年度に2億2,700万円余りが措置されました。用地買収が本格化し、早ければ今年度内にも工事に着工する見込みです。

新笹ノ田トンネル、現地調査へ

建設に向けた検討が進む国道343号線「新笹ノ田トンネル」は、今年度に現地踏査が行われることとなりました。これまでの上空からの調査に加え、現地での実踏査が行われることで建設に向けた技術的課題の解決につながるものと期待されます。

令和7年度当初予算における県農林水産部関係の主な事業

(単位：百万円)

新規継続	市町村名	事業名	施設等箇所名	当初予算額
継続	花泉町	土地改良事業調査(県営・県単)	大又	5
継続	一関市	農道整備事業	上新田一ノ沢	70
継続	一関市	経営体育成基盤整備事業	滝沢、小猪岡、西黒沢、笹谷、下大桑、川台、富沢	390
継続	一関市	中山間地域総合整備事業	市野々	91
継続	花泉町	基幹水利施設ストックマネジメント事業費	岩手7期(内ノ目排水機場、束稲幹線)	110
継続	平泉町	農村地域防災減災事業費	北照井堰、北大堰	68
継続	花泉町	農村地域防災減災事業費	油井名沢	61
継続	千厩町	経営体育成基盤整備事業	仏坂、清田、上奥玉、小梨1期	209
継続	大東町	経営体育成基盤整備事業	新山南、興田1期	77
継続	藤沢町	経営体育成基盤整備事業	北方、増沢	71

大船渡市山火事 ～復旧復興に全力挙げる～



大船渡商工会議所で要望をお聞きする



消火活動の様子

およそ3,370ヘクタールが延焼した大船渡市の山火事は、平成以降、国内最大規模となりました。津波との二重被害となった方も少なくなく、被災者の声も切実です。現地を訪問し関係者から要望をお聞きしながら、復興予算の編成などを後押ししてきました。今後も被災地の復興に向け努力して参ります。



岩瀬誠事務所

一関市花泉町金沢字内ノ目50
 電話・FAX.0191-82-3851
 メールアドレス ichinoseki@iwabuchi-mako10.com
 皆様からのご意見、ご要望をお待ちしています。